

「環境みらい」をめざして

下関市における環境・リサイクル啓発活動の公設民営施設を運営するNPOを立ち上げ、5年が経過しました。活動は順調に広がり、NPO

「環境みらい下関」をボランティアで支える会員も200名を超えるまでになりました。

ノーベル平和賞を受賞したマータイさんは指摘しています。「もっといい」はゼロ(R【Reduce】・Reuse・

Recycle)を一言で言い表している・・・と。私たちはこの「もっといい」を広めよう「深めよう」をスローガンの一つに掲げ、目標とする循環型社会の形成に向かって、3Rの認識やそれを推進する活動を行ってきました。

また、下関の都市部と農・漁・山村部との交流・連携の活動を進める中で、2年前から、

竹林ボランティア『しものせき竹取物語』を結成し、「里づくり都市しものせき」のスローガンを掲げながら竹林整備と竹材の利活用も進めてきました。

近年、歴史的な町並み保全等の景観まちづくりや里地・里山等の二次的自然の再生・保全を推進する「里づくり」の活動が全国各地に広がりを見せています。

私たちは、新生下関市の誕生を期に、それぞれの地区との結びつきを強め、都市部に生活する者が里山・里海に出かけ、里地の人々と交流し、里の保全と資源循環のしくみづくりをめざす「里づくり都市しものせき」の推進活動にも力を入れています。

「しものせき環境みらい館」啓発棟における活動の目標は、3R活動を推進し資源循環都市づくりをめざしながら、人と生きものにやさしい環境を育んでいくことです。

そのためには、いま、私たちにどのような自然とのつきあい方やかわり方が必要とされているのか、どのようなことを子供たちに伝えていけばよいのか、そして「環境みらい」に何を届けるべきか・・・これらの課題に向かい合いながら、これからも活動を

進めていきたいと思います。

理事長 坂本 紘二



第1部 13:00~14:50

● 講演

コウノトリが教えてくれた

理学博士 池田 啓

自然環境と人間の関係学

農学博士 宇根 豊

第2部 15:00~16:00

● パネルディスカッション

自然とのかかわりの作法を求めて

パネリスト 池田 啓/宇根 豊/白松 博之

コーディネーター 坂本 紘二

NPO法人 環境みらい下関

設立5周年記念事業

みらいへの贈りもの

自然とのかかわりの作法を求めて

入場
無料

平成20年5月31日(土)

13:00~

しものせき環境みらい館3F (下関市リサイクルプラザ)

下関市古屋町一丁目18-1

※サンデンバス「坂田」「稗田中央」より徒歩5分

お問合せ

083-252-7220

NPO法人 環境みらい下関



主催:NPO法人環境みらい下関

後援:下関市・下関市教育委員会・下関市立大学・(財)下関21世紀協会・下関市連合婦人会・朝日新聞社・西日本新聞社・毎日新聞社・山口新聞社・読売新聞下関支局
NHK下関支局・KRY山口放送・tysテレビ山口・yab山口朝日放送・(株)コミュニティーエフエム下関



池田 啓

兵庫県立大学教授・理学博士
兵庫県立大学自然環境科学研究所
兵庫県立コウノトリの郷公園園生生態研究所



宇根 豊

日本有機農業学会副会長・農学博士
福岡県農業振興審議会委員
生き物文化誌学会 理事
農と自然の研究所 代表理事



白松 博之

農家民宿 樵屋(きこりや)代表・指導林業士
山口県立大学非常勤講師(文化人類学環境問題)
(有)あつたか村 代表取締役
阿武町林業振興会 副会長兼事務局



坂本 紘二

NPO法人 環境みらい下関 理事長
公立大学法人下関市立大学 学長